

国際協力分野の人材育成を目指す日本の大学や大学院では、NGOへの期待感が年々高まりをみせています。そうしたなか、NGO関係者が講師として大学に招かれて講演や講義を行ったり、大学がNGOの企画する海外スタディツアーへの学生参加を奨励したり、学生がインターンやボランティアとしてNGO活動に直接関与したりする動きが各地で活発化しています。他方NGO側にも、活動広報、支援者拡大、組織能力強化などのために大学との連携をより積極的に模索する動きがみられます。

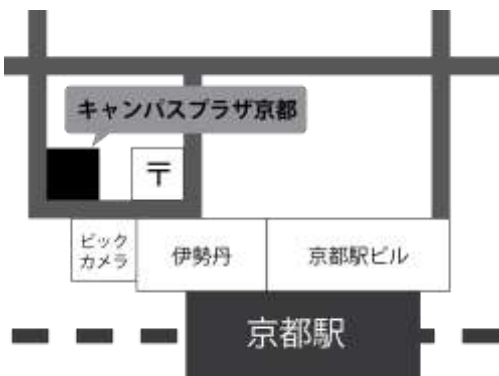
しかし、そうした大学とNGOの連携は、これまで大学教職員・学生とNGO関係者間の「個人的な関係」に依存する部分が多く、大学とNGOの間の「組織的な協働」は必ずしも十分に展開されてこなかったようにみえます。

これまで大学とNGOの「組織的な連携」を阻んできた要因とは一体何か。両者のそれぞれの“強み”を活かした真の連携のあり方とは何か。その国内外のグッドプラクティスの具体的事例には一体どのようなものがあるのか。

今回の外務省NGO研究会(裏面参照)の公開シンポジウムでは、99年に韓国の大学史上初の「NGO大学院」を設立し、NPO・NGOの実践的な教育・研究をリードしてきたチョ・ヒヨン氏(聖公会大学NGO大学院教授及び院長)をお招きし、その先駆的な取組みを学びながら、日本における大学とNGOの連携の将来像について考えます。

キャンパスプラザ京都

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る
(ビックカメラ前、JR京都駅ビル駐車場西側)



大学とNGOの連携

さらなる発展のために

外務省NGO研究会 公開シンポジウム

2012年
2月16日(木)
14:00-17:00
(開場 13:30)
キャンパスプラザ京都
ホール(2階)

PROGRAM

(日韓通訳あり)

14:00 挨拶(依頼中)
外務省国際協力局民間援助連携室
挨拶・趣旨説明
落合雄彦
(座長・龍谷大学法学部 教授)

14:15 [第1部]

問題提起
「大学とNGOの連携の現状
～日韓の事例から～」

「日本の大学・大学院とNPO/NGOの連携」
秋葉武
(立命館大学産業社会学部 准教授)
「韓国の大学・大学院とNGOの連携」
チョ・ヒヨン
(聖公会大学NGO大学院教授及び院長)

15:25 休憩

15:35 [第2部]
パネルディスカッション

<パネリスト>

高橋良輔
(佐賀大学文化教育学部 准教授)
大石洋史
(龍谷大学ボランティア・
NPO活動センター 課長)
森脇祐一
(アクセスー共生社会を目指す地球市民の会
常務理事)
山田和生
(株式会社マイチケット 会長)

<講評>

チョ・ヒヨン
(聖公会大学NGO大学院教授及び院長)

<司会>

秋葉武
(立命館大学産業社会学部 准教授)

主催 外務省
定員 70人

(当日参加も可能ですが、準備の都合上、
事前にお申し込みくださるとありがたいです)

お問い合わせ・お申し込み

特定非営利活動法人 関西NGO協議会
TEL: 06-6377-5144
E-mail: knc@kansaingo.net

参加費 無料